

はまかせ

国家公務員共済組合連合会
浜の町病院
日本医療機能評価機構・平成16年認定
 Hamanomachi Hospital

2012 第50号
 OCT.

新病院 北側完成予想図



新病院の北側には約230台
 収容可能な立体駐車場が
 できる予定です。



理念

『病める人の身になって、
 心のこもった最良の医療を目指します』

基本方針

1. 福岡市の基幹病院として急性期医療を担います。
2. 地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携や役割分担による地域完結型医療を目指します。
3. 安全で質の高い医療を追求し、患者さんに満足していただける病院を目指します。
4. 患者さんの尊厳と権利を尊重します。
5. 新しい時代の医療を先取りし、常に研鑽努力します。

c o n t e n t s

- 専門の立場から「人工関節の進歩」..... 馬渡 太郎
- 薬剤部の紹介 ～求められる専門性～..... 古賀 清弘
- 第4回浜の町病院医師に対する緩和ケア研修会開催報告 三ツ木健二
- 今年もリレーフォーライフ in 福岡に参加しました!..... 吉住 朋子
- 地域医療連携課だより..... 地域医療連携課
- 外来診療担当医一覧

人工関節の進歩

◎整形外科部長 馬渡 太郎



はじめに

2012年4月1日より真島龍興前部長に変わって、浜の町病院整形外科に赴任いたしました。整形外科の扱う疾患は多岐に渡っておりますが、外傷一般（骨折、脱臼、半月板損傷、靭帯損傷、アキレス腱断裂など）、変形性関節症（変形性膝関節症、変形性股関節症、その他の変形性関節症）、関節リウマチ、大腿骨頭壊死症、痛風など関節炎を伴う疾患、末梢神経疾患（手根管症候群、肘部管症候群など）、骨粗鬆症、骨代謝疾患などを中心として診療を行っております。手術療法としては、外傷手術、関節外科を中心に行っておりますが、本稿では近年進歩のめざましい人工関節置換術についてご紹介させていただきます。

関節疾患

QOLの維持のためには、歩けるということは非常に重要であり、股関節や膝関節など荷重関節の障害は、直接寝たきりや命に関わる問題です。

関節障害の原因として最も多いのが、変形性関節症です。日本人の股関節の変形性関節症の原因は、主として骨盤側のくぼみが生まれつき浅い「臼蓋形成不全」によることが多く、その程度によって学童期～高齢に至る様々な時期に症状が出現します。一方、膝関節の変形性関節症の原因は、半月板損傷や靭帯損傷の後に起こることもありますが、日本人では「内反膝（O脚）」によることが多く、こちらも様々な時期に症状が出現します。このように変形性関節症は股関節の場合も膝関節の場合も、骨の形態異常に起因した力学的問題が原因となっている事が多く、症状は慢性進行性であり、すり減った軟骨をもとに戻す薬物はいまだ

無いのが実情です。

次に、関節リウマチも全身の関節障害を来す慢性炎症性疾患です。現在薬物療法は大変進歩していますが、いったん破壊された関節をもとに戻すことはできません。

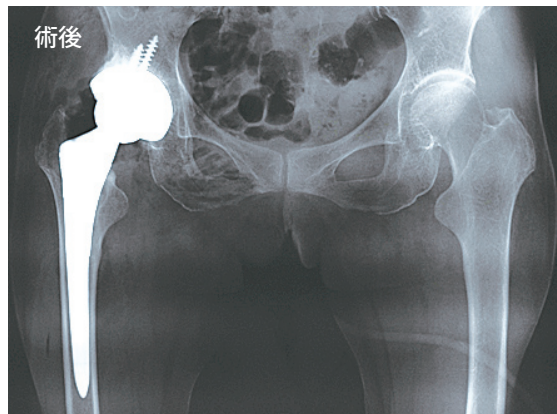
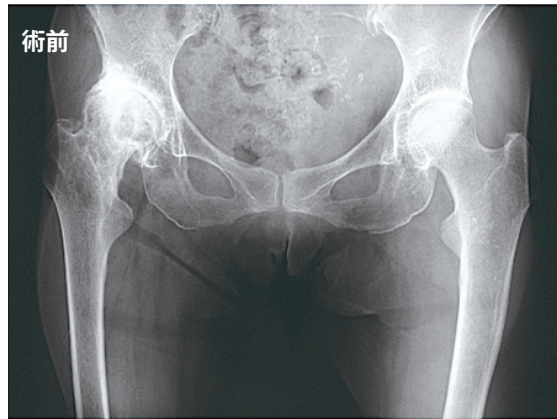
手術を受けたくないために、一つの関節の痛みを我慢して生活を続けていると、筋力は低下し、それ以外の膝や股、あるいは脊椎まで破綻してしまうこともよくあり、手術のタイミングは非常に重要です。

病状によっては、40～50歳くらいまでは、関節温存を目指す「骨切り術」が可能なこともあります。それ以外の場合に有効な手段が、「人工関節置換術」です。内科的な管理さえ可能であれば、93歳でも手術を受けて元気に退院されておられます。

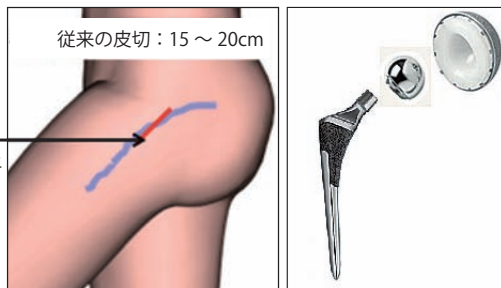
人工股関節置換術

進行期や末期の股関節症に対して、破壊された臼蓋と大腿骨頭をインプラントで置き換えます。主として4つの部品から構成されており、チタン合金、コバルトクロム合金やセラミック、そして超高分子量ポリエチレン等の生体適合性の良い材料でできています。利点として、早期から痛みが非常によくとれ、関節の動きが改善し、歩きやすくなります。変形性股関節症では、左右の脚の長さが異なる場合も多くありますが、手術により、30mm程度までは脚を伸ばして左右同じにすることが可能です。極端に内股にすると脱臼することが数%報告されており、ベッドと椅子の“洋式的生活”が推奨されますが、極めて満足度の高い手術です。当科では可能な場合は、手術を8cm程度の小皮切で行なっています。

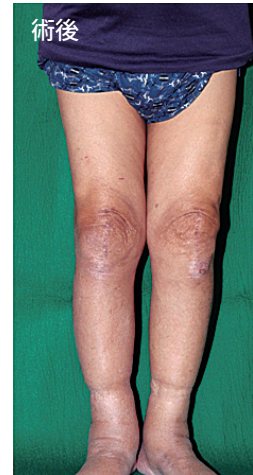
●人工股関節置換術



手術時間 約 60 分
小皮切 約 8cm
耐用年数 20 年以上
脱臼抵抗性



●人工膝関節置換術



人工膝関節置換術

進行期や末期膝関節症に対して、大腿骨、脛骨、膝蓋骨の関節面をインプラントで置き換えます。こちらも人工股関節と同様に生体適合性の良い材料でできています。手術により、O脚をまっすぐな脚に矯正します。早期から痛みが改善し、拘縮がとれ関節の動きが改善し、歩きやすくなります。残念ながら、手術後も正座はできませんが、以前よりもインプラントのデザインが改良され、屈曲角度が増えています。当科では、適切な靭帯バランスを得ることや関節後方の郭清を行うことにより、より良い安定性と可動性の獲得を目指しています。

おわりに

人工股関節置換術、人工膝関節置換術とも、手術後は数日後から歩行訓練を開始し、術後3週間程度での退院を目指しています。どちらも耐用年数は、以前は10年程度とされていましたが、現在は人工関節の材質とデザイン、さらに手術手技の進歩により、20～30年以上の耐久性が期待されています。

手術によって痛みのない関節を得て、笑顔で外来に来られる患者さんとお会いするのを何よりも嬉しく思っています。他院ではなく、「浜の町病院で手術して良かった」と言ってもらえるようにスタッフ一同頑張ります。

近年、患者さんに最適で安心かつ安全な医療を提供するために、チーム医療の一員として薬剤師が積極的に患者さんの薬物治療に関わることが求められています。当薬剤部においても医薬品の安全かつ適正な使用を支援することを念頭に日常業務を行っています。調剤、注射薬個人セット、製剤、医薬品情報管理、医薬品管理などの基本業務はもとより薬物血中濃度モニタリング (TDM)、がん化学療法でのプロトコール・薬歴をもとにした処方鑑査および抗がん剤の混合調製も行っています。更には全病棟に担当薬剤師を配置しており、入院患者さんへの服薬説明・服薬相談をはじめとした薬剤管理指導業務を活発に行っています。

現在、高度化する医療の進歩に伴い、薬剤師の専門性を生かしたより良質の医療を提供するという社会的要請に応えるため、高度な薬物療法等について知識・技術を備えた薬剤師が求められるようになってきました。

「がん」、「緩和ケア」、「感染」、「糖尿病」、「精神疾患」、「妊婦授乳婦」、「栄養サポート」などの領域では、特定の専門分野における薬物療法等について十分な知識と技術を持った専門・認定薬剤師が医師、看護師などの他職種と連携して薬物治療に携わっています。

当院においても「がん」、「感染」、「糖尿病」の領域で薬剤師が活躍していますので、各チームにおける業務内容を紹介いたします。

■ がん薬物療法認定薬剤師

院内のがん化学療法が安全かつ適切に行われるように化学療法委員として、レジメンの登録ならびに管理を行っています。薬剤部内においては抗がん剤処方のチェック、服薬指導、抗がん剤調製等のがん化学療法関連業務において、他の薬剤師への指導を行い質の高いがん薬物療法を提供できるよう取り組んでいます。

更にはがんの治療と同時に行う緩和治療において

も、緩和ケアチームの一員として医療用麻薬の適正使用などを通して緩和薬物療法を支援しています。

■ 感染制御認定薬剤師

感染制御を通じて患者さんが安心・安全で適切な治療を受けることができるよう、感染症治療に関わる薬物療法の適切かつ安全な提供を感染対策チーム (ICT) の一員として行っています。抗菌薬・消毒薬の適正使用に関する相談受付、特定抗菌薬 (カルバペネム系・抗 MRSA 薬) 使用届の管理、院内感染対策マニュアルの作成・改訂 (抗菌薬・消毒薬) 等を主に行っています。また ICT の病棟ラウンドへ参加し、病棟での薬品管理や抗 MRSA 薬血中濃度測定に基づいた投与計画の提案も行っています。

■ 糖尿病療養指導士

医師とともに患者さんが適切な自己管理 (療養) を行えるようにサポートを行っています。糖尿病の治療には患者さんの自己管理が欠かせません。薬剤師はベットサイドでの服薬指導はもちろん、糖尿病の教育入院をされている患者さんを対象に糖尿病治療薬の概要について講義を行っています。また糖尿病のカンファレンスにも参加し、チーム医療の一員として貢献できるように努めています。



薬剤部のスタッフ

2012年6月に日本医療薬学会認定薬剤師制度「研修施設」として認定されました。薬の専門家として広範にわたる知識と錬磨された技能を備えた薬剤師養成に寄与しています。

第4回 浜の町病院 医師に対する 緩和ケア研修会 開催報告

研修日時・会場

平成24年8月25日(土) 13:30~20:00
平成24年8月26日(日) 9:00~17:50 (2日間)
福岡市中央区舞鶴3-5-27
浜の町病院 別館5階 研修講堂

主催者

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院

平成24年8月25日(土)・26日(日)の両日、浜の町病院 別館5階 研修講堂におきまして、第4回「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成20年4月1日付け健発第0401016号厚生労働省健康局長通知)に基づく「医師に対する緩和ケア研修会」を開催いたしました。

緩和ケアにおけるベテラン講師8名の指導のもと、市内、市外から開業医6名、勤務医13名、看護師3名、薬剤師2名の計24名が研修を熱心に受講されました。また、今回は、「地域連携」のセッションに市内で活躍されている3名の訪問看護師さんをお招きし、活発な討議を行うことができました。

講師、受講生、スタッフの方など多数の皆さまのご協力をいただき、第4回 緩和ケア研修会を無事終了することができました。誠にありがとうございました。

(腫瘍内科 三ツ木 健二)



症例検討



地域連携

ロールプレイ



記念撮影、皆様お疲れ様でした

浜の町がん診療 オープンセミナー開催報告

当院では、7月3日(第13回)及び7月31日(第14回)にがん診療オープンセミナーを開催いたしました。

■7月3日(火) 18:00~20:00

浜の町病院別館5階研修講堂

特別講演「DPCからみたがん診療の実態」

産業医科大学医学部

公衆衛生学教室教授 松田晋哉 先生

特別講演「がん薬物療法を効果的に行うには
~dose intensityと適切な支持療法~」

福岡大学医学部

腫瘍・血液・感染症科教授 田村和夫 先生

■7月31日(火) 19:00~20:30

浜の町病院別館5階研修講堂

テーマ「肺がんの早期診断について」

当院放射線科医長 川波 哲

「肺がんの手術療法について」

当院外科医長 松本耕太郎

「肺がんの緩和ケアについて」

当院外科部長 加藤 雅人

両日も、院内外から多数の方々のご参加をいただき有難うございました。浜の町病院では毎年、適宜開催(HPに掲載)いたしておりますので、がん診療に携わっておられるの方々のご参加をお待ち申し上げます。

今年もリレーフォーライフ in 福岡に参加しました！

平成24年9月15日～16日
海の中道海浜公園「光と風の広場」にて

臨床心理士 吉住 朋子

リレーフォーライフとは、がん啓発、がん教育、日本対がん協会への寄付という目的を持ち、24時間がんを闘っているがん患者さんとそのご家族のつらさを少しでもわかち合い、「がんと共に歩いていく」「がんに負けずに歩いていく」気持ちでタスキをつなげ24時間歩き続けるイベントです。

福岡での開催は今年で4年目となり、一昨年と同じ海の中道で行なわれました。浜の町病院からも有志の職員と患者さん合わせて約30名で「オーシャンブリーズ」というチーム名で参加しました。今年初の試みとして講演会がいくつか企画されていましたが、その1つに当院管理栄養士の樋口則子（栄養課長）による「腸活パワーを高めましょう!!」という講演もありました。食生活という自分達で努力・工夫のできる部分のおはなしで、聴きにいられた方々も終始聞きながら聴いておられました。

台風が近づいていたため無事開催できるのかと心配しましたが、1日目の夕方までは強風ながらも雨

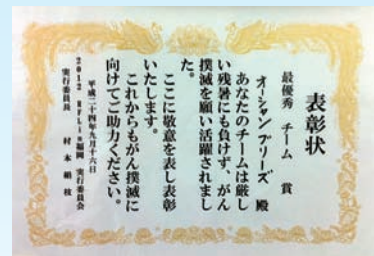
は降らずにもちました。しかし夜からは断続的に雨が降り続き2日目午前中の閉会式までずっと雨でした。雨天決行の大変さを身をもって感じましたがそんな中、真夜中でも傘を差しながら歩く方が結構おられ、このリレーフォーライフにかける思いの強さを感じました。

決して良い天候に恵まれたとは言えない状況でしたが、それでも来場者約1,500人、寄付金は116万円にもものぼり、盛況のうちに終わりました。

来年度は病院移転の頃と重なるためどのような形で参加ができるか検討が必要ですが、これからも毎年参加していきたいと考えています。興味を持たれた方は「がん相談支援センター」までお知らせ下さい。皆様のご参加ご支援お待ちしております。

*リレーフォーライフ in 福岡の詳細については以下のHPをご覧ください。

<http://rflfukuoka.dokkoisho.com/index.html>
がん相談支援センター（地域連携課）



登録医から 一言

ひろた内科クリニック

院長 広田 雄一

〒813-0062
福岡市中央区荒戸2丁目4-14
TEL：092-738-8001
FAX：092-738-8071



円筒形の建物（写真1）

「浜の町病院には優秀な先生方が揃っておられる」

昭和55年に九大医学部を卒業し、同57年に第一内科血液研究室で造血幹細胞の研究に没頭していました。当時、研究室主任であった仁保喜之先生（現九大名誉教授）が、「浜の町病院には優秀な先生方が揃っておられる」とよく語っておられました。

平成4年にカナダ・オンタリオ癌研究所の留学から四国・松山赤十字病院内科に赴任。その後、浜の町病院血液内科の先生方などの御指導を受けながら、無菌室を設置し造血幹細胞移植を開始しました。

浜の町病院血液内科には、NHK テレビで有名となった谷口修一先生をはじめ優秀な先生方が赴任され、現在では、衛藤徹也先生を中心に、造血幹細胞移植で日本屈指の治療成績を示しておられます。

このことは、血液内科の先生方だけでなく、看護師さんや検査部門、放射線部門を含めた病院全体の医療レベルの高さを示していると思っております。

私は、縁あって平成15年12月より、後ろに桜の西公園、前方に大塚公園が開ける中央区荒戸に開業し、早いもので9年が過ぎようとしています。当院は、1階が総ガラス張り、円筒形の特徴ある建物（写真1）で、車イスが楽々と通れる待合室を備えています（写真2）。



ゆったりとした待合室（写真2）

現在は、「総合内科専門医」として、高血圧・高脂血症・糖尿病などの生活習慣病や、カゼなど内科全般の診療を行っています。処方薬は、なるべく院内で処方し、患者さんの経済的負担軽減に配慮しています。

また、「血液疾患専門医・指導医」として、内服治療を主体とする安定期の血液悪性疾患や、免疫グロブリン製剤・G-CSF/エリスロポエチン製剤・輸血などの血液製剤投与を行っています。

開業して2年目、84歳の男性が診察中に、突然の意識消失で倒れ、そのまま診察室で心臓マッサージを実施しながら、救急車で浜の町病院循環器内科へ搬送。急性心筋梗塞の治療を的確に実施して下さり、1ヶ月後にその患者さんが元気に再来を受診され、私とスタッフ一同が大喜びしました。救急患者さんの受け入れでは、その後も大変御世話になっております。

その他、喘息や呼吸不全での呼吸器科、肝疾患や消化器疾患はもちろん、神経疾患、内分泌内科・腫瘍内科、リウマチ・膠原病内科・腎臓内科など、浜の町病院のあらゆる診療科に、紹介状を書かない週はないほど御世話になっております。さらに、紹介患者さんの詳細な報告書を郵送下さるとともに、外来受診・入院に関する連絡をFAXで迅速に送って下さり、感謝しております。

新「浜の町病院」の無事故開院と、ますますのご発展、そして先生方ならびに医療関係者・事務の方々のご活躍とご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院外来診療担当医

■救急患者紹介連絡先 月～金（8：30～17：15） Tel 092-721-9913（連携課直通）／ Fax 0120-721-991（連携課直通）
 上記以外の時間及び土日祝 Tel 092-721-0831（病院代表）

（平成24年10月1日現在）

診療科	時間	専門	月	火	水	木	金	
救急センター		総合診療部	内田勇二郎	内田勇二郎	内田勇二郎	内田勇二郎	内田勇二郎	
		救急	廣津こう平	廣津こう平	廣津こう平	廣津こう平	廣津こう平	
内科 ※腫瘍内科の新患は月～金の午後	午前	血液新患	衛藤徹也	齋藤統之	衛藤徹也	平安山英穂	第1.3.5吉田周郎 第2.4河野一郎	
		血液再来	吉田周郎	衛藤・河野	平安山英穂	衛藤徹也	平安山英穂	
		循環器新患	片岡 伸	船越祐子	白井 真	河合俊輔	栗林祥子	
		循環器再来	栗林祥子	船越祐子	白井 真	河合俊輔	白井 真	
		消化器	具嶋正樹	瀬尾 充	瀬尾 充	岩崎圭三	具嶋正樹	
		腫瘍	三ツ木健二	田中吏佐	田中吏佐	田中吏佐	三ツ木健二	
		肝臓	上野新子	高橋和弘	具嶋敏文	高橋和弘	高橋和弘	
		呼吸器	樋口和行 前山隆茂	鶴田伸子 -	樋口和行 -	鶴田伸子 前山隆茂	樋口和行 -	
		内分泌	村上嘉一	小河一彦	小河一彦	村上嘉一	小河一彦	
		腎臓	-	吉田鉄彦	出口孝史	-	吉田鉄彦	
膠原	-	-	吉澤誠司	吉澤誠司	-			
総合診療	内田勇二郎	当番医	田中謙二	内田勇二郎	当番医			
脳神経センター ※脳外科（月・水・金）の午後、神経内科の午後は、紹介患者と予約のみ	午前	脳外科	松角宏一郎 山口慎也	手術 紹介新患のみ （当番医） 山口慎也	松角宏一郎 山口慎也	手術 紹介新患のみ （当番医） 山口慎也	松角宏一郎 山口慎也	
		神経内科	-	佐竹真理恵	佐竹真理恵	佐竹真理恵	佐竹真理恵	
	午後	脳外科	松角宏一郎	手術 紹介新患のみ （当番医） 山口慎也	山口慎也	手術 紹介新患のみ （当番医） 山口慎也	松角宏一郎	
		-	-	-	-	-		
精神科（要予約）	午後	精神科	-	-	九大	-	九大	
外科	午前	消化器・一般	許斐裕之 森山大樹	一宮 仁 森山大樹	松本耕太郎 後藤佳登	許斐裕之 村上光彦	一宮 仁 村上光彦	
		胸部	-	松本耕太郎	加藤・松本	加藤雅人	-	
		乳腺・甲状腺	大城戸・森山	大城戸・森山	松本耕太郎	村上光彦	村上光彦	
	午後	乳腺・甲状腺	-	-	-	大城戸政行	-	
産婦人科 ※婦人科の診療は午前のみ 産科初診のみ婦人科で受付	午前	産科	弓削乃利人	井上・宮崎	上岡・山本	安永・井植	江頭・安武	
		婦人科	上岡陽亮	井上善仁	井上善仁	江頭活子	井上善仁	
			江頭活子	山本奈理	江頭活子	山本奈理	上岡陽亮	
			安永昌史	弓削乃利人	安永昌史	弓削乃利人	安永昌史	
宮崎順秀	安武伸子	宮崎順秀	-	宮崎順秀				
山本奈理	-	弓削乃利人	-	井植大介				
整形外科 ※新患は紹介のみ 月・水・金は受付8:30～10:30	午前	整形外科	手術 紹介新患のみ （当番医）	馬渡太郎 秋山武徳 松井 元 中川 剛	手術 紹介新患のみ （当番医）	秋山武徳 井口貴裕 今村純忠 中川 剛	馬渡太郎 松井 元 井口貴裕 今村純忠	
			形成外科	松本大輔	-	松本大輔	-	松本大輔
			泌尿器科	小藤秀嗣 山崎武成	多田(予約のみ) -	小藤秀嗣 山崎武成	山崎(予約のみ) -	小藤秀嗣 多田靖弘
			泌尿器科 ※午後は予約と紹介のみ	小藤(予約のみ) 山崎(予約のみ)	手術	小藤(予約のみ) 山崎(予約のみ)	手術	小藤(予約のみ) 多田(予約のみ)
小児科 ※午後は予約のみ 内分泌第3水曜日/ 循環器第4木曜日のみ（予約）	午前	小児科	黒木理恵	松崎寛司	松崎・黒木(腎)	武本環美	松崎寛司	
	午後	小児科	松崎寛司	-	神 経 内 分 泌	1ヶ月健診 循環器	健 診 予防接種	
耳鼻咽喉科	午前	耳鼻科	白土秀樹	白土秀樹	手術	白土秀樹	-	
			-	玉江昭裕		玉江昭裕	玉江昭裕	
			瀬川祐一	瀬川祐一		-	瀬川祐一	
			野田哲平	-		野田哲平	野田哲平	
眼科	午前	眼科	藤本 武 安里 瞳	手術 （当番医）	藤本 武 安里 瞳	手術 （当番医）	藤本 武 安里 瞳	
			皮膚科（新患は紹介のみ）	午前	皮膚科	幸田 太 赤星真希	幸田 太 赤星真希	幸田 太 赤星真希
放射線科	午前	放射線科	松浦隆志	松浦隆志	松浦隆志	-	-	
			田中厚生	田中厚生	田中厚生	田中厚生	田中厚生	
			川波 哲 舛本博史	川波 哲 舛本博史	川波 哲 舛本博史	川波 哲 舛本博史	川波 哲 舛本博史	
緩和ケア外来（要予約）14:00～16:00	午後	緩和ケア外来	-	加藤雅人	-	三ツ木健二	-	
健康医学センター（要予約）	午前	外来ドック	高崎智子 落合早苗	高崎智子 落合早苗	高崎智子 落合早苗	高崎智子 落合早苗	高崎智子 落合早苗	

* 受付時間：午前 8:30～11:00 午後 1:00～2:30

● 発行責任者／浜の町病院広報誌編集委員会
委員長 大石 潔